

Outshining
Light



第113期
中間レポート

平成29年4月1日～平成29年9月30日

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード: 6923

スタンレーグループビジョン



スタンレーは、世界中のスタンレーグループで共有する基本的な価値観として、「スタンレーグループビジョン」を掲げています。
私たちは、このビジョンのもとで、「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、真に必要とされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

A 自動車機器事業

- LEDヘッドランプ
- HIDヘッドランプ
- リアコンビネーションランプ
- ハイマウントストップランプ
- フォグランプ
- 自動車電球
- LEDバルブ
- 他

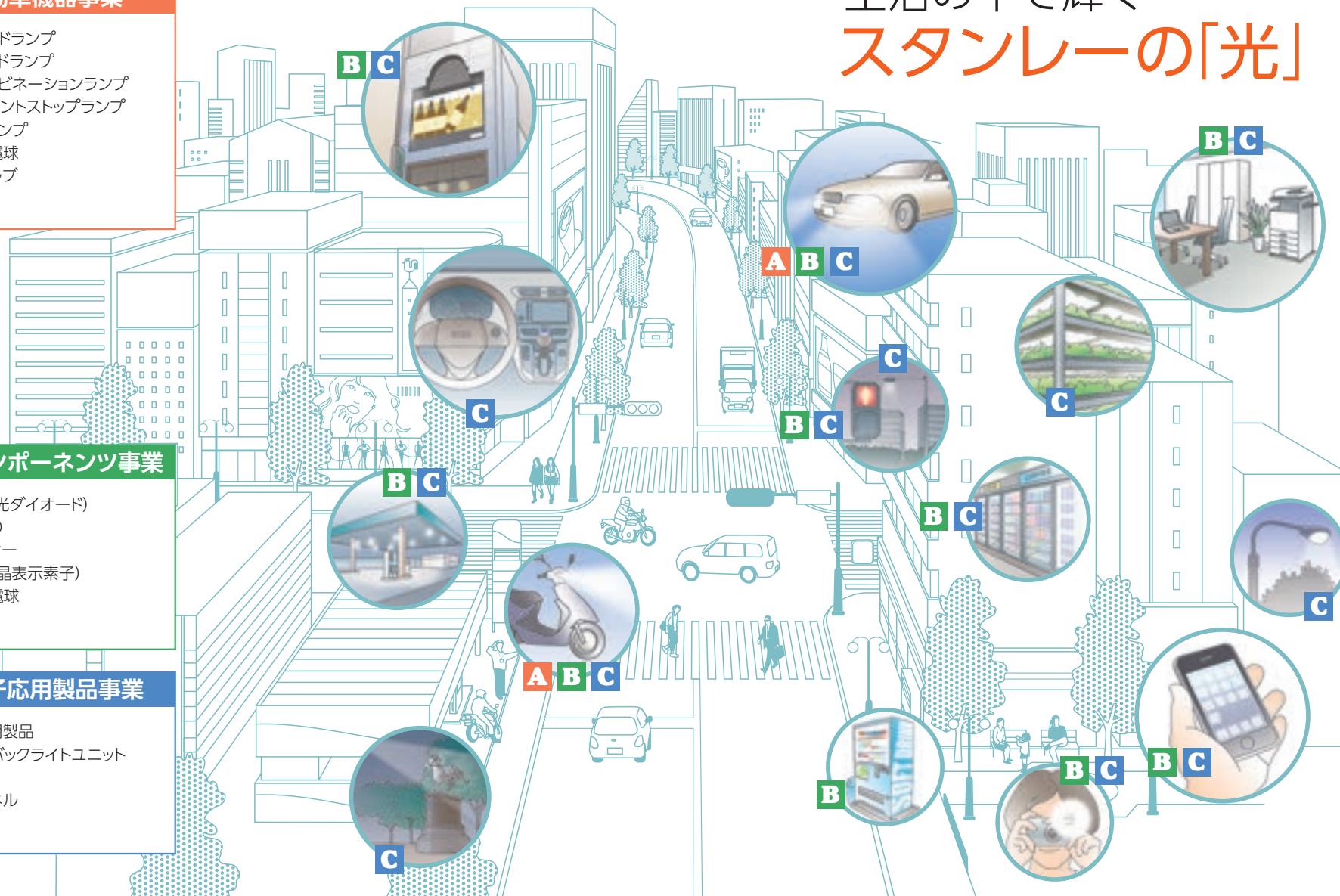
B コンポーネンツ事業

- LED(発光ダイオード)
- 赤外LED
- 光センサー
- LCD(液晶表示素子)
- 超小形電球
- 他

C 電子応用製品事業

- LED照明製品
- LCD用バックライトユニット
- ストロボ
- 操作パネル
- 他

生活の中で輝く
スタンレーの「光」



株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年9月30日をもって第113期の第2四半期決算を行いましたので、ここにご報告を申し上げます。

代表取締役社長 **北野隆典**

全般的な営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続きました。

世界経済は、米国、欧州では緩やかに回復、アジアでは総じて緩やかな成長が続き、中国では持ち直しが見られました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）では、グローバルでの市場ニーズを的確に捉えた製品開発、及び受注拡大を目指した営業力強化や生産能力の増強、そして生産工程や間接部門の徹底的なムダ取りといった生産革新活動による生産性向上等を着実に実行しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は2,090億7千8百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は225億9千9百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益は247億9千2百万円（前年同期比39.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155億1千7百万円（前年同期比43.1%増）と増収増益になりました。

連結財政状態について

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,834億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ254億9百万円増加しております。主な要因は、流動資

産が170億7千万円及び固定資産が83億3千9百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は、現金及び預金が増加したこと及びたな卸資産が増加したこと等によるものです。固定資産の増加は、有形固定資産が増加したこと及び投資有価証券が増加したこと等によるものです。

負債は1,150億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億2千9百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものです。

純資産は3,684億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ201億8千万円増加しております。主な要因は、株主資本が116億1千8百万円増加したこと及びそ

連結財務ハイライト



他の包括利益累計額が61億2千9百万円増加したこと等によるものです。株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

連結業績予想と配当の状況について

当社の配当金につきましては、安定した配当の維持及び適正な利益還元を基本としており、連結配当性向20%以上、自己株の取得を含めた総還元性向は、連結で35%以上を目標としております。

当第2四半期末の配当金につきましては、平成29年

7月31日公表の1株当たり21円とさせていただきます。

なお、1株当たり21円とし第2四半期末の配当金と合わせた年間配当金を1株当たり42円とさせて頂く予定であります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	百万円	%
売上高	410,000	5.5
営業利益	48,300	14.2
経常利益	53,000	15.9
親会社株主に帰属する当期純利益	33,800	17.8
1株当たり当期純利益	円 銭 204.77	—

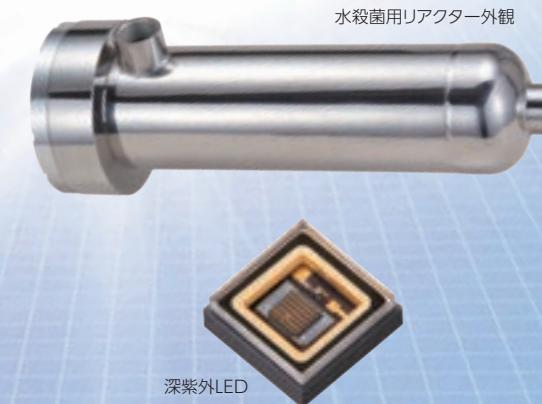
※%表示は、対前期増減率。
※当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

殺菌能力の高い波長265nmの深紫外LEDを用いた水殺菌用リアクター

殺菌に最も効果がある波長265nmで、世界トップクラスの高出力50mWの深紫外LEDデバイスを使用した水殺菌用リアクターです。従来の殺菌用水銀ランプの線状光源に対し、LEDは点光源であるため配光制御の自由度が高く、光の有効利用が可能となりました。

スタンレーではこの深紫外LEDと、長年培ってきた自動車用ランプの光学技術を用い、最適な照度分布により、リアクター内の処理水に対し効率的な殺菌を実現しました。塩素処理など薬品による殺菌に耐性を有する菌(クリプトสปリジウム、ジアルジアなど)に対して、紫外線殺菌は有効な方法であり、水銀を用いない深紫外LEDを利用した水殺菌装置は大きく期待されています。

将来は飲用に適した水が容易に得られない地域に深紫外LED水殺菌装置を用いて殺菌をした安全な水を提供することも視野に入れています。



特集 技術の窓

WINDOWS OF TECHNOLOGY
スタンレーの最新技術をご紹介します。



緑色LEDが魚の成長を促進

スタンレーは、北里大学と神奈川県水産技術センターとの共同研究で、緑色LEDの光を飼育中のマコガレイの稚魚に照射し、通常の飼育と比べて成長を早める効果があることを実証しました。

全長27ミリのマコガレイの稚魚に緑色LEDの光を4週間照射すると、光を照射しないものと比べて、体長で1.2倍、体重で1.4倍成長が早いことが明らかとなっており、この技術は、マコガレイの他、ヒラメやホシガレイでも有効性が確認されています。

スタンレーは、成長を促進するために必要とされる均一な配光や光強度を備えるLED照明器具を担当しており、今後も、この共同研究の成果を活用したLED照明器具を、栽培漁業の分野に役立ててまいります。



港湾施設用LED照明販売事業が「物流環境負荷軽減技術開発賞」を受賞

スタンレーは港湾施設用LED照明販売事業で、(一社)日本物流団体連合会が物流部門の環境保全活動や環境啓蒙活動等で優れた功績を残した企業などに贈る、第18回物流環境大賞における「物流環境負荷軽減技術開発賞」を(株)ユニエツクス*1(本社:東京都品川区)と共同受賞しました。

当社LEDは、消費電力と温室効果ガスが50~60%削減可能で、明るさと見やすさを向上させ、作業の安全性に貢献しており、REACH規則*2やRoHS指令*3に適合している点に加え、ベルギー-港湾での実績が評価されました。



ベルギーの屋外ターミナルに設置されたLED港湾灯(左)と製品



- ※1 日本郵船グループ。港湾施設用LED照明事業を当社と共同で推進しています。
- ※2 EUが制定した健康・環境保護のために科学物質を管理する欧州会議及び欧州理事会の規則
- ※3 EUによる電子・電気機器における特定有害物質の使用制限についての指令



ブース



UV-CCL



UV-CCLリアクター



「AQUATECH CHINA2017」に出展

6月7日~9日まで中国・上海で開催された、浄水・造水・洗浄・排水・循環など水処理技術に関する世界最大級の展示会の一つ「AQUATECH CHINA 2017」に出展しました。当社ブースには3日間を通じてたくさんのお客様にご来場いただきました。

昨年、中国大手メーカーであるVIOMI様の家庭用浄水器に当社製品をご採用いただいたことを機に、殺菌機能付き浄水器が一般的になりつつあります。また、IoT*技術の活用も進んでおり、浄水器や蛇口は高機能化しています。当社製のコンパクトで長寿命、高い殺菌力を有するUV-CCLを今まで以上に拡販してまいります。

* Internet of Things あらゆるモノがインターネットを通じて接続され、モニタリングやコントロールを可能にするといった概念、コンセプトのこと。

NEWS & TOPICS



ナイアガラの滝イルミネーションプロジェクトが「IES Illumination Awards」を受賞

スタンレーのLED投光器が全面採用された北米の『ナイアガラの滝』イルミネーションプロジェクトが、北米照明学会 (IES、本拠地:ニューヨーク) 主催の「2017 IES Illumination Awards (北米照明学会賞)」で、「Award of Excellence」を受賞しました。本プロジェクトは、照明デザイン会社 Salex IncとMulvey & Banani Lighting INCとの共同プロジェクトです。北米照明学会賞は、照明学の権威として知られる同学会が主催する、照明設計を対象とした国際的な照明デザイン賞で、専門性・創意工夫・オリジナリティを評価の対象としています。

当社のLED投光器は、高出力LEDデバイスと自動車用ヘッドランプ技術で培った独自の光学設計を駆使した、他に類のない超狭角配光2.5度で、1台あたりわずか25Wという低消費電力で1km先を照射することが可能です。

既存のLED投光器は高効率で高出力のものがなく、遠方を照射するためには、大掛かりな照明と設備が必要となり、設置や照射の距離的な制限がありました。スタンレーは低消費電力・低発熱、ヒートシンクのない薄型47mm、軽量4.3kgを実現。設置場所の自由度を向上させ、今までは難しかった大型案件のライトアップなどに使用することを可能にしました。



「MAISON & OBJET, Paris 2017」に出展

9月8日~12日まで、フランス・パリで開催された世界最大級のインテリアとデザインの見本市「MAISON&OBJET, Paris 2017」見本市に協賛出展しました。本見本市の光のテーマ展示を世界的な照明デザイナーの石井幹子氏、石井リーサ明理氏が手がけており、当社は2013年から協賛出展しています。

当社ブースでは、ナイアガラの滝ライトアップの映像や光のオブジェによる演出が目を引き、多くの来場者から好意的な反響が数多くありました。



トライアングルオブジェ



ピラミッドオブジェ



ランプシステム技術 開発体制の強化

安全に運転できるランプシステムを作る会社として、スタンレーは先進技術開発を強化しています。加えて従来の設計、生産技術、品質、コストでの競争力も高め、スピード感をもった開発を推進させるための体制強化を行っています。

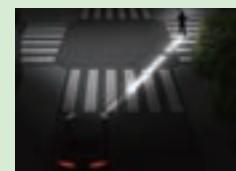
対向車や先行車の位置を検知してハイビームの照射範囲を変えるADB(アダプティブドライビングビーム)を2014年に開発・量産。その後も高機能ヘッドランプシステムの提案を進め、直近では高解像度ADBの開発や、自社で内製するLEDの価値向上にも取り組んでいます。スタンレーのライティングシステムは車に乗る人だけでなく、様々なシーンで車を取り巻くすべての人に安全・安心を提供してまいります。



高解像度ADB



追突防止路面描画リアランプ

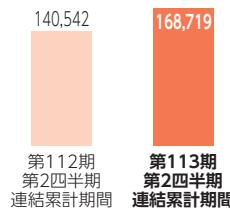


路面描画ライティング

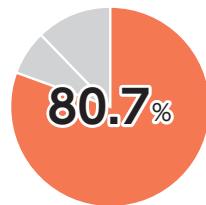
自動車機器事業

売上高 **1,687億1千9**百万円

売上高の推移(単位:百万円)



売上構成比



主な事業内容

- LEDヘッドランプ
- HIDヘッドランプ
- リアコンビネーションランプ
- ハイマウントストップランプ
- フォグランプ
- 自動車電球
- LEDバルブ 他



LEDヘッドランプ



LEDリアコンビネーションランプ

世界の自動車生産台数は、米州で微減、欧州、中国で横ばい、日本、アジアで増加となり、全体として微増となりました。二輪車生産台数では、米州で減少、欧州で微減となったものの、日本、アジア、中国で増加となり、全体として増加となりました。

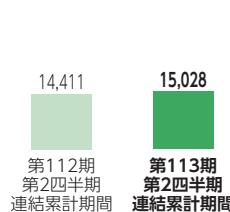
このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、当社が光源から一貫して製造しているLEDヘッドランプが増加したことで増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は1,687億1千9百万円(前年同期比20.0%増)、営業利益は135億8千9百万円(前年同期比35.4%増)となりました。

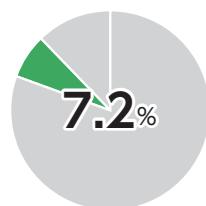
コンポーネンツ事業

売上高 **150億2千8**百万円

売上高の推移(単位:百万円)



売上構成比



主な事業内容

- LED(発光ダイオード)
- 赤外LED
- 光センサー
- LCD(液晶表示素子)
- 超小形電球 他



車載用LED



赤外LED

当セグメントが関連するLED照明市場、情報通信市場は増加、車載市場は微増となったものの、遊技市場は横ばい、AV市場は減少となりました。

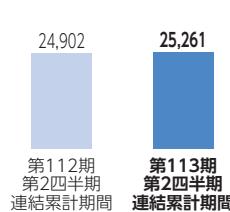
このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業(LED、液晶等)は、LEDヘッドランプ用や車載インテリア用のLEDが増加し、増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は150億2千8百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は41億9千2百万円(前年同期比54.2%増)となりました。

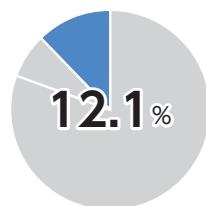
電子応用製品事業

売上高 **252億6千1**百万円

売上高の推移(単位:百万円)



売上構成比



主な事業内容

- LED照明製品
- LCD用バックライトユニット
- ストロボ
- 操作パネル 他



車載用パネル



PC用バックライト

当セグメントが関連するLED照明市場は増加、車載インテリア市場は微増、OA市場は横ばいとなったものの、AV市場のうちカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業(LED照明製品、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル等)は、OAパネルが減少したものの、LED灯体の光源や制御等に用いる電子基板に加え、PC用バックライト、ストロボ等が増加し増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は252億6千1百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は32億7千8百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

その他

売上高 **7**千万円

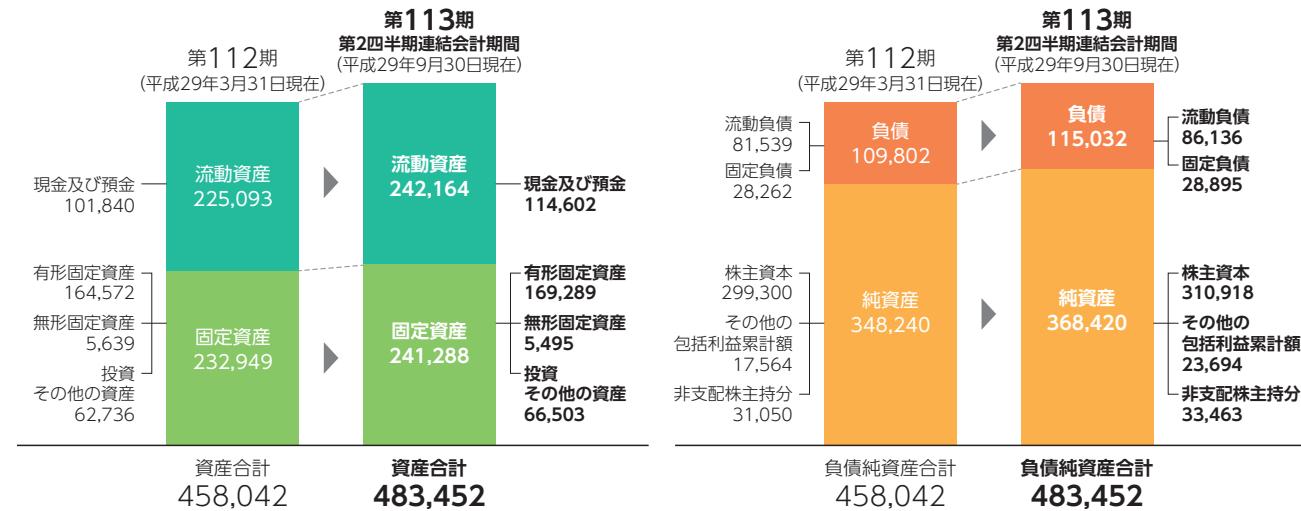
主な事業内容

- 身体障害者雇用促進事業
- グループに対する金融・経営サービス 他

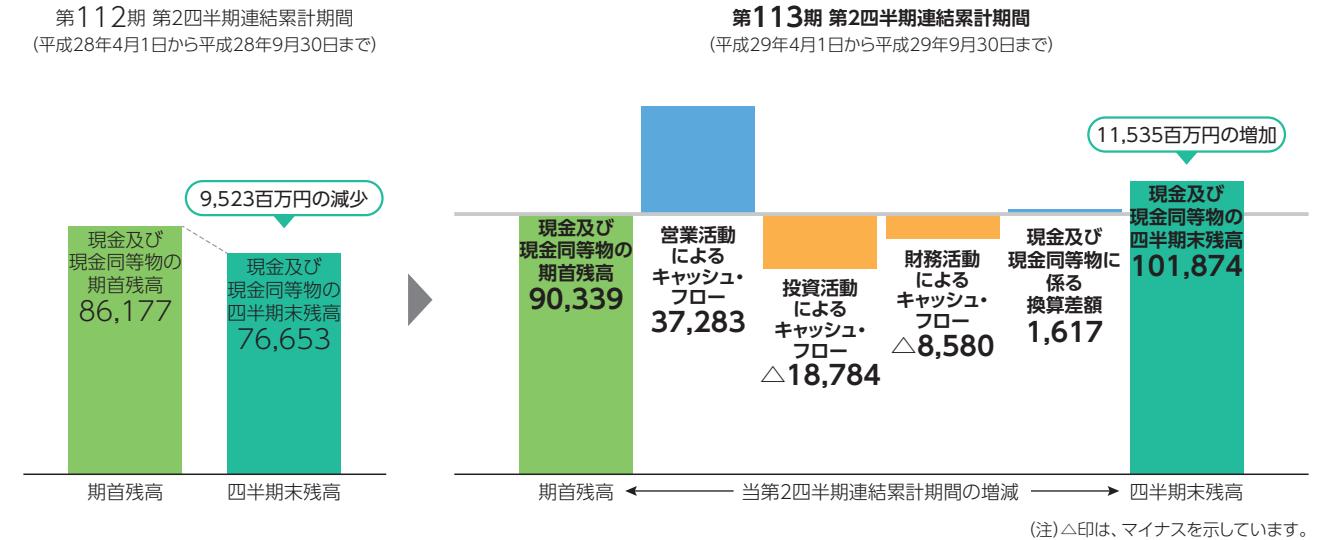
当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は7千万円、営業損失は5百万円となりました。

連結決算概要

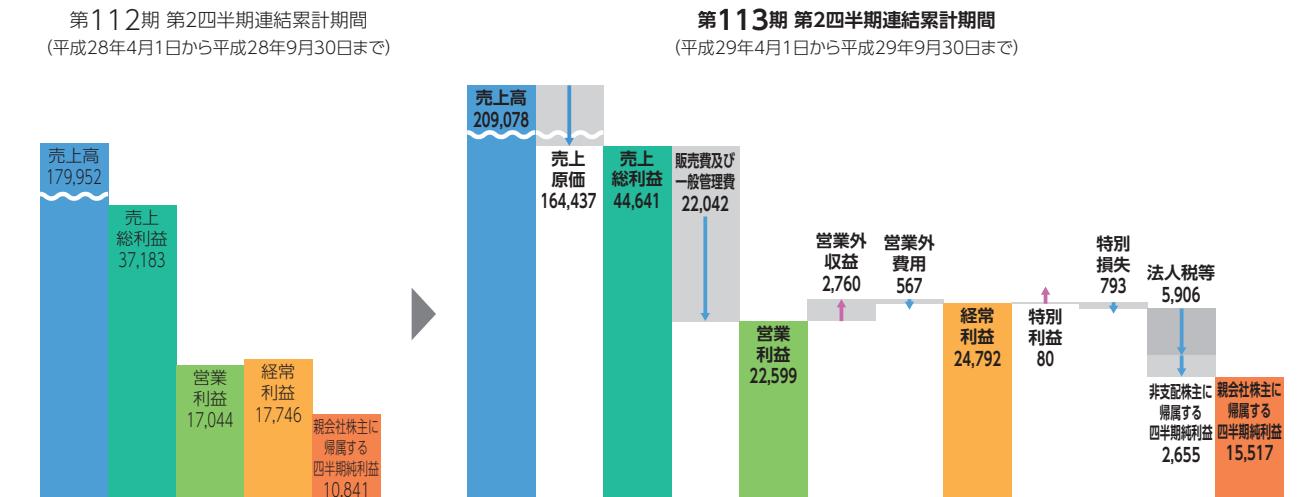
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結の範囲

連結子会社	国内(8社)	株式会社スタンレーいわき製作所 株式会社スタンレー鶴岡製作所 株式会社スタンレー新潟製作所	他
海外(29社)	Stanley Electric U. S. Co., Inc. I I Stanley Co., Inc. Stanley Electric Holding of America, Inc. Stanley Electric do Brasil Ltda. Stanley Electric Manufacturing Mexico S.A. de C.V. 天津斯坦雷電気有限公司 天津斯坦雷電気科技有限公司 広州斯坦雷電気有限公司 斯坦雷電気(中国)投資有限公司		他
持分法適用会社	海外(3社)	Thai Stanley Electric Public Co., Ltd. Hella-Stanley Holding Pty Ltd Lumax Industries Ltd.	

区分	第112期 第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)	第113期 第2四半期連結累計期間 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)
連結子会社数	38社	37社
持分法適用会社数	3社	3社
合計	41社	40社

会社・役員の詳細 (平成29年9月30日現在)

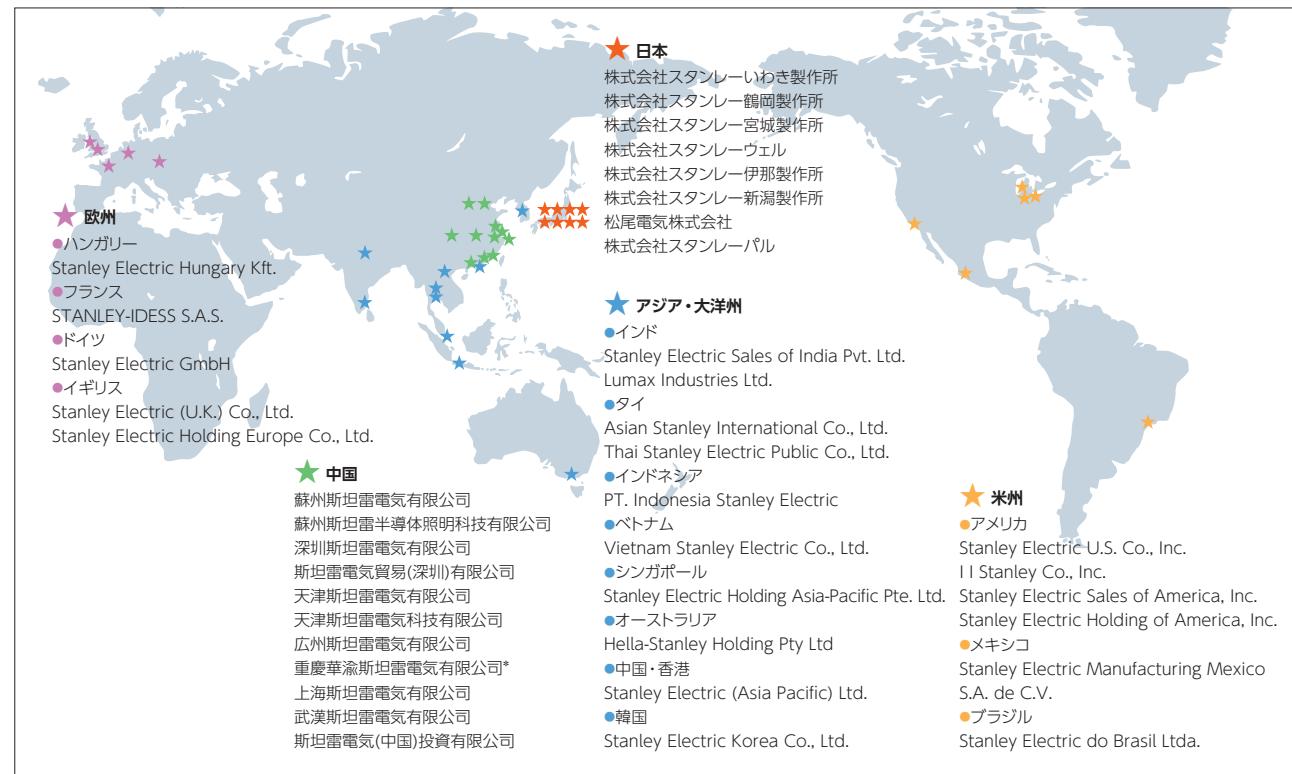
会社の概要

創業 大正9年12月29日(1920年)
 設立 昭和8年 5月 5日(1933年)
 資本金 30,514百万円
 社員数 当社グループ 16,590人
 当社 3,593人

事業所

本社 東京都目黒区中目黒2-9-13
 研究所 技術研究所(横浜)
 宇都宮技術センター
 横浜技術センター
 オプトテクニカルセンター(横浜)
 支店 大阪/名古屋
 営業拠点 大宮/狭山/朝霞/鈴鹿
 製作所工場等 秦野/岡崎/浜松/広島/山形

グループ会社



* 重慶華渝斯坦雷电气有限公司は平成28年5月23日をもって解散し、清算中であります。

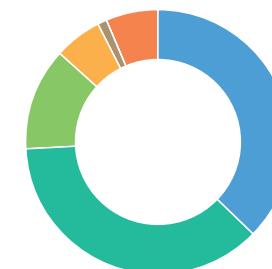
株式等の状況 (平成29年9月30日現在)

株式の総数及び株主数

発行可能株式総数 750,000,000株
 発行済株式の総数 176,300,000株
 総株主数 9,000名

株式の所有者別割合

■ 外国法人等 37.46%
 ■ 金融機関 36.80%
 ■ その他の法人 12.55%
 ■ 個人・その他 5.83%
 ■ 金融商品取引業者 1.00%
 ■ 政府・地方公共団体 0.11%
 ■ 自己株式 6.25%



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	9,235	5.59
株式会社三井住友銀行	8,111	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,578	4.59
日本生命保険相互会社	6,886	4.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,725	4.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	6,460	3.91
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	5,440	3.29
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,572	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,888	1.75
JP MORGAN CHASE BANK 385078	2,846	1.72

(注1) 当社は、平成29年9月30日現在自己株式を11,019千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 (注2) 持株比率は自己株式(11,019千株)を控除して計算しております。

中間配当

平成29年10月30日開催の取締役会において、第113期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)中間配当金の支払について、下記のとおり決議いたしました。

(記)

当社定款の規定に基づき、平成29年9月30日を基準日として、次のとおり第113期中間配当金を支払う。

1. 中間配当金 1株につき金21円
2. 効力発生日及び支払開始日 平成29年11月29日(水曜日)

取締役・監査役

代表取締役社長 北野 隆典
 専務取締役 平塚 豊
 常務取締役 田辺 徹
 取締役 飯野 勝利
 取締役 高森 啓之
 取締役 米谷 光弘
 取締役 貝住 泰昭
 取締役 上田 啓介
 社外取締役 森 正勝
 社外取締役 河野 宏和
 常勤監査役 山口 隆太
 常勤監査役 下田 浩二
 社外監査役 山内 悦嗣
 社外監査役 網谷 充弘
 社外監査役 菅野 寛

執行役員

松下 義嗣 二輪事業部長、アジア・大洋州事業担当
 安武 正廣 光半導体事業部長
 久保田 正紀 品質担当
 大木 聡 四輪第三事業部長
 太田 智広 ストロボ事業部長
 榎本 浩幸 営業担当
 鈴木 重夫 AP事業部長
 伊藤 基善 ディスプレイデバイス事業部長
 寒河江 正浩 照明応用事業部長
 和田 直也 照明デバイス事業部長
 小島 新一郎 四輪第二事業部長
 遠藤 利恵 コーポレートバリューアナリスト
 高野 一樹 四輪第一事業部長

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会 3月31日

基準日 期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

公告方法

電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告掲載のホームページアドレス
<http://www.stanley.co.jp/profile/index.html>

株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)

同連絡先(注)

郵送先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

(注) 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

株式に関する手続き

- 株主さまの住所・氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座(※)に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先・郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-232-711

(平日9:00~17:00・通話料無料)

お手续用紙請求 インターネットによるダウンロード
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※ 株券電子化前に証券保管振替機構に預託されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行に開設いたしました特別口座に記録されております。

- 未受領の配当金のお支払請求につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL:<http://www.stanley.co.jp/>